

## 教育委員会委員の異動

令和5年9月1日に開催された「第3回周防大島町議会定例会」において、長年にわたり教育委員会委員として町教育行政にご尽力いただきました沖廣正義氏(久賀)の後任として、新たに、清木隆法氏(久賀)の教育委員会委員任命が同意されました。

### 【任期】

令和5年11月27日

～令和9年11月26日



清木隆法 教育委員会委員

## 周防大島で冬キャンプ



周防大島には片添ヶ浜海浜公園オートキャンプ場をはじめ、陸奥キャンプ場と逗子ヶ浜キャンプ場、沖家室シーサイドキャンプ場があり、キャンプを趣味とされる皆さんに親しまれています。

片添ヶ浜海浜公園オートキャンプ場は、設備が充実していて初心者の方でも快適に楽しめるキャンプ場です。管理棟には売店があり温泉やシャワーも完備、出入口にはゲートがありスタッフも常駐しているので安心してご宿泊いただけます。テント泊以外にもコテージやグランピングなどの宿泊施設も充実しています。

陸奥キャンプ場は、バイクキャンプやソロキャンプの方に人気のキャンプ場で、伊保田港からのアクセスの良さも魅力の一つとなっています。逗子ヶ浜キャンプ場は、目の前に海水浴場が広がり、シャワーやケビンも完備され夏にオススメのキャンプ場です。

今年9月には瀬戸内の海・島・山ならびに波・風を感じる"SETOUCHI FEELING"をコンセプトとした沖家室シーサイドキャンプ場が誕生しました。電源付きオートサイト、区画サイトがそれぞれ5区画のミニマムなキャンプ場ですが、今後の展開が大いに期待されます。

春から秋のシーズンを経て、冬はシーズンオフと思われがちですが、電源サイトやポータブル電源を利用すれば容易に暖を得ることができますので、近年では冬キャンプを楽しむ人たちが増えてきました。

冬の星座が瞬く夜空のもと、キャンプの醍醐味である焚き火は最高に贅沢で、カレーやスープなどの焚き火料理は体の中から温めてくれます。また、鍋料理も焚き火と相性抜群ですので、テイクアウトみかん鍋で冬のグルメキャンプを満喫してみたいはいかがでしょうか。

町内に3つある温浴施設も冬キャンプには喜ばれる施設で、キャンプ・トレッキング・サイクリング・みかん狩りなどのアクティビティとの連携を推し進めています。

テント泊のハードルが高ければコテージ・グランピング・ゲストハウスからチャレンジできますので、観光協会ではお泊り観光の一環として冬の周防大島ならではのお泊りアウトドアを提案していきたいと思えます。



▲夜空のもと、焚き火を囲う様子